

大きさとして**÷分数**を考える

小学三年生で学んだとおり、

割られる数	÷	割る数	=	商
6	÷	2	=	3
60	÷	20	=	3
600	÷	200	=	3
6000	÷	2000	=	3

割られる数と**割る数**に**同じ数**を**掛けて**も
商の大きさは変わらない。

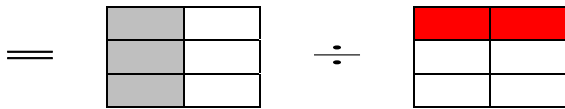
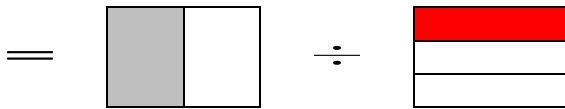
同じように、

割られる数と**割る数**に**同じ数7**を**掛けて**も
商の大きさは変わらない。

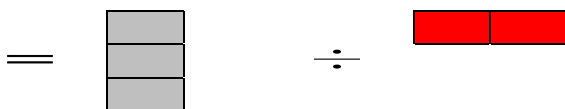
$\frac{6}{7}$	÷	$\frac{2}{7}$	=	3
---------------	---	---------------	---	---

分母が異なる場合は、
通分して同じにするとよい。

$$\frac{1}{2} \div \frac{1}{3}$$



$$= \frac{3}{6} \div \frac{2}{6}$$



$$= 3 \div 2$$

$$= \frac{3}{2}$$

← $\frac{1}{2}$ は $\frac{1}{3}$ の何倍か

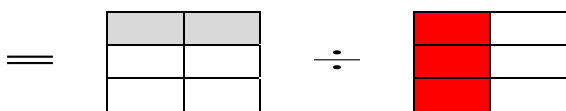
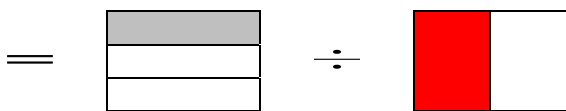
分母を6として通分。

割られる数と

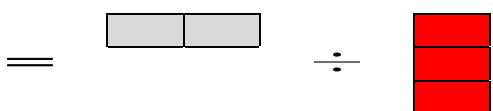
割る数を

共に6倍して、

$$\frac{1}{3} \div \frac{1}{2}$$



$$= \frac{2}{6} \div \frac{3}{6}$$



$$= 2 \div 3$$

$$= \frac{2}{3}$$

$\frac{1}{3}$ は $\frac{1}{2}$ の 何倍か

分母を6として通分。

割られる数と

割る数を

共に6倍して、